

## 総務企画常任委員会 行政視察

総務企画常任委員会では、11月7日から9日まで、大分県大分市と熊本県玉名市の二カ所の行政視察を行いました。

今回の大分市の視察では、自治会を中心として地域活性化対策に自主的に取り組むまちづくり事業を支援するための「近所の底力事業」と「地域まちづくり」を視察しました。

## 建設水道常任委員会 行政視察

10月5日から7日にかけて、北海道せたな町で汚水処理施設共同整備事業について、函館市では都市景観事業について行政視察を行いました。

せたな町では、汚水処理施設の全面的な見直しが必要となり、施設を改築・更新するよりも下水処理場で投入処理することで生活排水処理の一元化を図るほう

また玉名市では「地域自治区設置事業」とコミュニティの自治、自立と活性化を促進する「玉名21の星事業」そして、行政改革の中で、事務事業の効率化のみならず質の高いサービスと

職員の担うべき業務の見直しと民間活力の積極的導入を図るための「アウトソーシング基本計画」を視察研修してきました。

すべて積極的な取り組みで、大変有意義なものでした。

が建設コストや維持管理費の面で優れていると判断。その結果、各町の下水道と

共同で処理を行う汚水処理施設共同整備事業（MICS）を導入しました。これにより、最も合理的に処理ができることでした。

函館市の都市景観事業は名称は多少の変化はしたものの、昭和57年から長きにわたり行われている事業です。徳川幕府最期の地も税金や後継者・観光等多くの問題を抱えていました。

## 市民経済常任委員会 行政視察

市民経済常任委員会では、沖縄県沖縄市の活性化100人委員会と宜野湾市の産業振興の視察をしました。

沖縄市の活性化100人委員会は、市民の持ついる豊富な知識・経験・感性を結集することにより「ひと輝くげんきな沖縄市」を目指しています。課題ごとに部会を設置し、公募による市民委員、市職員等が協

働による精神に基づき意見交換等を行い市長に報告書を提出します。事業効果として、タウンマネジャー、空き店舗を活用したチャレンジショップ等の事業展開につなげています。

宜野湾市の産業振興では、

商工会がメンター制度の導入支援を行っています。早期離職者が高水準のため、先輩社員が若手社員の相談に応じることにより、精神的な支えとなり、職場の定着化につながっています。

## 教育福祉常任委員会 行政視察

教育福祉常任委員会は10月31日から11月2日まで京都府八幡市と奈良県大和郡山市へ視察を行いました。

八幡市は京都府の南西部に位置し、人口は7万4千人で面積は24・37平方キロです。子育て支援については、「八幡子育て情報誌」を子育て支援センターで発行し、市の四力月健診で配布、病院等に置いて自由に

## 議会報編集委員会 行政視察

議会報編集委員会は11月16日、千葉県袖ヶ浦市で議会報編集について研修を行いました。

袖ヶ浦市は条例による議会報特別委員会でした。委員は8人で各会派からの選出です。発行は年4回、2万8000部がタブロイド版で発行されており、配布は新聞折り込みが主です。編集は毎号2回の委員会で記事担当を決め原稿を作成し、読み合わせ、文言等を直し写真を含めた全体レイアウトを決め印刷に回します。印刷が上がった原稿を職員が誤字脱字を再チェックし、最終校を職員が確認し本刷り、配布されます。

